

&lt;横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告&gt;

第57号

2006年6月15日

一月刊一

# 古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50  
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com



## 市の仕事のコストを考える

皆様お元気ですか！

いつも古川なおきレポートをご愛読いただき、ありがとうございます。

先月号のテーマ「議員定数削減」については多くの皆様からご意見をいただきありがとうございました。「もっと議員の数を減らしてほしい」といったご意見がほとんどで、数を増やすべきとのご意見はゼロでした。私は大幅に削減すべきと主張していますが、現在も市会で議論していますので、結論が出ましたらレポートでご報告させていただきます。

さて、今月号のテーマは「市の仕事のコスト」です。先日、逗子市が税金のカロリー表示法を発表し、市民サービスのコストをわかりやすく数値化して示しました。例えば「1枚200円の住民票を発行するのに563円のコストがかかっています。」「放置自転車・バイクを移動、保管するのに1台あたり11612円のコストがかかっています。」など、逗子市の仕事のコストを表示することをスタートしたのです。これは税金の使い道を多くの市民に知っていただき、市政に関心を持っていただくことを目的としたものです。

横浜市でもこれまでに予算をわかりやすく説明するため「ヨサンノミカタ」を作成し、予算を家計簿に例えたり、広報よこはまで「市民一人当たりの予算の使い道」を示すなど工夫してきました。一般会計約1兆3千億円といわれてもピンときませんが、市民一人当たり約36万円で、福祉・保健・医療に12万円使われていますと説明されると現実的にイメージできます。しかし、**今後は逗子市のように、さらに税金の使い道を身近に感じていただくためにも「市の仕事のコスト」を示すべきだと思います。**参考までに横浜市での主な事業のコストを試算し、裏面に掲載させていただきましたのでご参照ください。

ところで、「市の仕事のコスト」を割り出す手法にABCがあります。ABCとは(Activity Based Costing)の略で「活動基準原価計算」という民間の経営管理手法の一つです。私も市に提案していますが、各局区にABCの導入を指示しているものの活用されていないのが現状です。私たちは車を買う時、日産、トヨタ、ホンダ等価格や性能、デザイン、アフターサービス等比較して決めます。しかし、行政サービスの場合、横浜市に住めば横浜市役所に、逗子市に住めば

逗子市役所で嫌でもサービスを受けることになり、行政には競争原理が働きません。このことが緊張感やスピード感がない、いわゆる「お役所仕事」になる原因になっていると思います。**私は市の仕事のコストを明確にできれば他都市とは人口規模や予算規模が違っても行政サービスの効率は競い合えるのではないかと考えています。**これには様々な議論がありますが、まず、ABCをやった市のサービスのコストを明確にしてみる価値はあると思います。横浜市独自のサービスであれば比較できませんが、同じようなサービスであれば他都市と比較することによって評価できるので、他都市と比べて効率が悪ければより一層業務の改善を求むことができます。**私は人件費や内部事務管理費等の間接経費を徹底的に抑えて、税金は1円でも多く、福祉や医療や教育等の市民サービスに還元すべきだと思っています。**それを市役所に「やりなさい」「やります」と議会で議論し続けても、効率が良いのか悪いのか、客観的に評価できる指標がなければ議論にならないと思っています。

「何人の職員がどんな活動に何時間費やしたのか」ほとんどの行政機関では把握していません。行政には民間企業では当たり前である「人の時間＝コスト」という感覚が不足しています。だからこそABCを導入すべきであると以前から提案しているのです。繰り返しになりますが、この手法は市の仕事のコストを明らかにし、職員にコスト意識を持たせることができます。そして、市の仕事のコストを明らかにすることができれば、市民の皆様にもコスト意識を持って市民サービスについて考えていただけるのではないかと思います。議員や職員に対しても厳しい目を持っていただきたい。また、ゴミ処理や図書館など行政サービスは利用料が無料でも、すべての行政サービスには私たちの税金が使われていることを再認識していただきたいと思います。

市役所は、競争原理が働かないので、私たちが市政に無関心になればなるほど、市民サービスは低下することが懸念されます。それは議員に対しても同じなのです。**4年に1度の選挙の時だけではなく、日ごろから市政に関心をお持ちいただき、様々な疑問やご意見を議員に市役所に遠慮なくぶつけていただきたいと思っています。**議員も職員もボランティアではなく税金で給料をいただいているのですから・・・。

横浜市議員 古川なおき

# 市民生活に関わる経費

～返子市との比較～  
(平成16年度数値を使用)

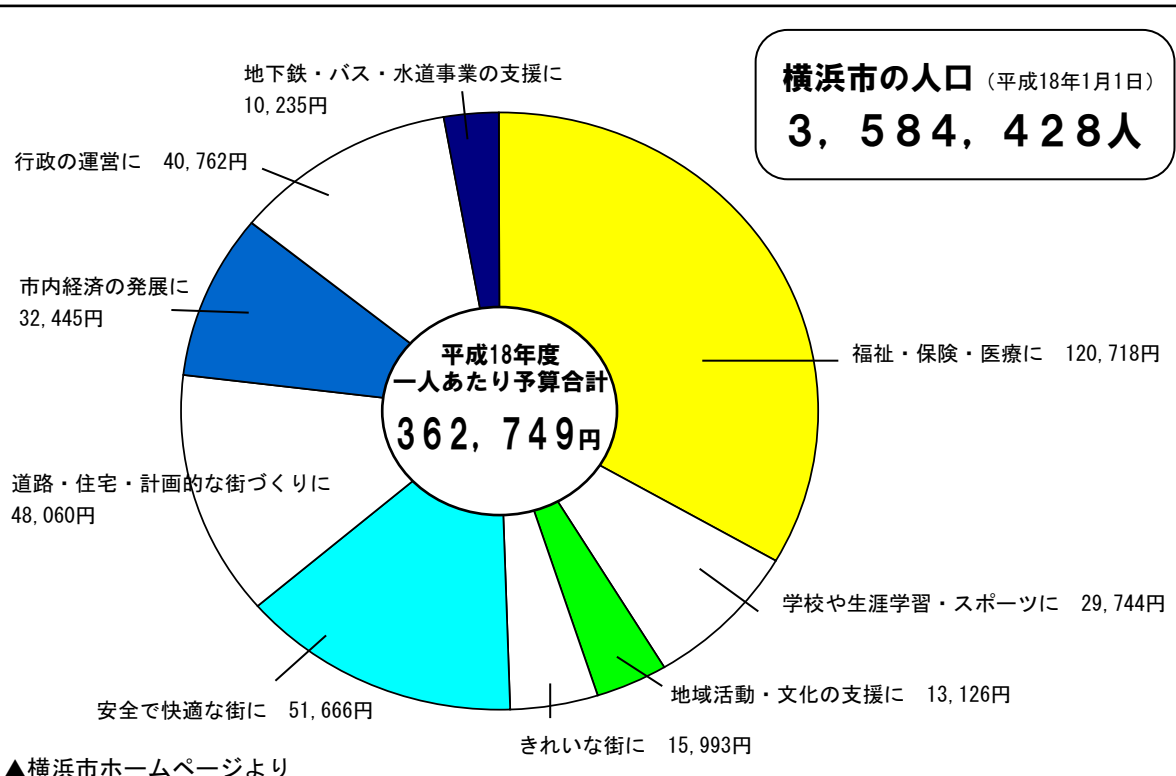
人口規模は違いますが、行政サービスごとのコストを比較することによって、行政にもサービスの効率に対する競争意識を導入できると考えます。

横浜市人口  
約360万人

返子市人口  
約5万8千人

▲古川なおきの独自調査による

項目	横浜市	返子市
放置自転車対策事業 (放置自転車等一台の移動・保管)	3,327円 (年間131,892台)	11,612円 (年間2,289台)
保育園運営事業 〔園児1人当たりの月額保育費 (委託費・施設維持管理費、保育士の賃金・食料費等)〕	113,142円 (市立、民間の園児年間延人数27,654)	111,966円 (市立保育園年間延人数173人)
公園維持管理事業 (1平方メートル当たり)	1,601円	1,787円
じんかい処理事業等	1kgの資源物、ごみ収集 処理をする経費 30円	10Lのゴミ袋を焼却する費用 51円
救急活動事業 (救急車1回出動に要する費用)	40,986円 (年間157,371件)	54,774円 (年間2,875件)
市営プール運営管理事業 (1人1回利用時)	492円	689円
市立体育館トレーニングルーム 運営管理事業(1人1回利用時)	346円	463円
図書館維持管理・ 図書館情報システム管理事業・ 図書館事務費(図書貸出1冊あたり)	330円 (年間11,803,366冊)	114円 (年間441,128冊)



横浜市民一人あたり  
予算の使いみち  
(平成18年度一般会計)

**古川なおきプロフィール**

明治大学公共政策大学院在学中  
昭和43年8月31日横浜市生まれ 37才  
県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業  
横浜銀行勤務後、議員秘書となる  
平成7年横浜市議員初当選(26才)  
平成18年度市民活力推進教育委員会副委員長  
同 青少年・市民スポーツ特別委員会  
自民党横浜市支部連合会青年局長  
横浜青年会議所(JC)

日本動物福祉協会横浜支部支部長  
鶴ヶ峰商店街協同組合顧問  
希望ヶ丘高校同窓会校蔭会評議員  
旭区スポーツダンス協会顧問  
旭区サッカー協会顧問  
学校法人 八洲学園 理事  
NPO法人スクール・エイド・ジャパン理事  
卓球本間クラブ所属

※皆様のご意見をお待ちしています！メール・FAXでどうぞ！

古川なおき主な予定(6月)

- 13日 本会議
- 15～20日 常任委員会
- 19日 政策会議
- 21日 特別委員会
- 22日 市会ありかた調査会
- 23日 本会議
- 29日 区づくり推進会議

横浜市コールセンター  
TEL 664-2525  
ぜひご利用ください！